

## 幾何学I 演習問題 No.11 (2020年7月8日)

レポート課題 No.11 以下の問題 124 と問題 127 を解いて, 7月14日(火)17:00 までに PandA でオンラインで提出してください。締め切りを過ぎたものの提出は受け付けません<sup>1</sup>。また, 違う問題番号を解いたものは採点しません。

### 基本問題

問題 123  $M, N, Q$  を  $C^\infty$  級多様体,  $f: M \rightarrow N, g: N \rightarrow Q$  を  $C^\infty$  級写像とする。  $Q$  上の 1 次微分形式  $\alpha$  に対して  $(g \circ f)^*\alpha = f^*(g^*\alpha)$  を示せ。

問題 124 次の微分形式を計算せよ。(  $\varphi^*(\alpha \wedge \beta) = \varphi^*\alpha \wedge \varphi^*\beta, d\varphi^*(\alpha) = \varphi^*(d\alpha)$  を使う。 )

- (1)  $\mathbb{R}^2$  上の 1 次微分形式  $x dy - y dx$  を極座標  $(r, \theta)$  で座標表示せよ。
- (2)  $(x, y, z)$  を  $\mathbb{R}^3$  の座標とする。  $\varphi: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$  を  $\varphi(x, y, z) = (x, xy, xyz)$  とおく。  $\varphi^*(dy \wedge dz)$  を求めよ。
- (3)  $\mathbb{R}^3$  上の 1 次微分形式  $\alpha = f(x, y, z)dx + g(x, y, z)dy + h(x, y, z)dz$  に対して  $d\alpha$  を求めよ。
- (4)  $\mathbb{R}^3$  上の 2 次微分形式  $\beta = f(x, y, z)dy \wedge dz + g(x, y, z)dz \wedge dx + h(x, y, z)dx \wedge dy$  に対して  $d\beta$  を求めよ。
- (5)  $\mathbb{R}^6$  上の微分形式  $\omega = dx_1 \wedge dx_2 + dx_3 \wedge dx_4 + dx_5 \wedge dx_6$  に対して,  $\omega \wedge \omega \wedge \omega$  を求めよ。

### 標準問題

問題 125  $V$  を  $\mathbb{R}$  上の有限次元ベクトル空間とする。  $\bigwedge^k V$  は次の「universal mapping property」を持つことを示せ。授業では  $\bigwedge^k V$  を  $V$  の基底を用いて定義したが, この性質により  $\bigwedge^k V$  は基底の取り方によらないことが分かる。

任意のベクトル空間  $W$  と, 多重線形性と反対称性を満たす写像  $\varphi: V^k \rightarrow W$  に対して線形写像  $\tilde{\varphi}: \bigwedge^k V \rightarrow W$  であって次の図式を可換にするものがただ一つ存在する。

$$\begin{array}{ccc} V^k & \xrightarrow{\varphi} & W \\ \pi \downarrow & \nearrow \tilde{\varphi} & \\ \bigwedge^k V & & \end{array}$$

ここで縦の写像  $\pi: V^k \rightarrow \bigwedge^k V$  は  $\pi(v_1, \dots, v_k) = v_1 \wedge \dots \wedge v_k$ 。

<sup>1</sup>PandA がダウンしている等の理由で提出できない場合は私のメールアドレス iritani@math.kyoto-u.ac.jp に直接送付してください。

問題 126 有限次元ベクトル空間の間の線形写像  $f: V \rightarrow W$  に対して線形写像  $f: \bigwedge^k V \rightarrow \bigwedge^k W$  であって  $v_1 \wedge \cdots \wedge v_k$  を  $f(v_1) \wedge \cdots \wedge f(v_k)$  に写すものがただ一つ存在する．これを universal mapping property を使って示せ．

問題 127  $\mathbb{R}^3$  上の 2 次微分形式  $\alpha$  を

$$\alpha = xdy \wedge dz + ydz \wedge dx + zdx \wedge dy$$

とおく． $i: S^2 \rightarrow \mathbb{R}^3$  を包含写像とする． $S^2$  の北極からの立体射影の与える座標  $\varphi: S^2 \setminus \{(0, 0, 1)\} \rightarrow \mathbb{R}^2$  によって  $i^*\alpha$  を座標表示せよ．ただし No.1, 問題 6 の答え (とそこで使った計算) を用いてよい．

問題 128  $\mathbb{R}^n$  の開集合上の  $C^\infty$  級関数  $f_i(x_1, \dots, x_n)$ ,  $1 \leq i \leq k$  に対して次を示せ．

$$df_1 \wedge \cdots \wedge df_k = \sum_{1 \leq i_1 < i_2 < \cdots < i_k \leq n} \frac{\partial(f_1, f_2, \dots, f_k)}{\partial(x_{i_1}, x_{i_2}, \dots, x_{i_k})} dx_{i_1} \wedge \cdots \wedge dx_{i_k}$$

ただし

$$\frac{\partial(f_1, f_2, \dots, f_k)}{\partial(x_{i_1}, x_{i_2}, \dots, x_{i_k})} = \begin{vmatrix} \frac{\partial f_1}{\partial x_{i_1}} & \frac{\partial f_1}{\partial x_{i_2}} & \cdots & \frac{\partial f_1}{\partial x_{i_k}} \\ \frac{\partial f_2}{\partial x_{i_1}} & \frac{\partial f_2}{\partial x_{i_2}} & \cdots & \frac{\partial f_2}{\partial x_{i_k}} \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ \frac{\partial f_r}{\partial x_{i_1}} & \frac{\partial f_r}{\partial x_{i_2}} & \cdots & \frac{\partial f_r}{\partial x_{i_k}} \end{vmatrix}$$

問題 129  $M, N$  を  $C^\infty$  級多様体,  $\varphi: M \rightarrow N$  を  $C^\infty$  級写像,  $\omega$  を  $N$  上の  $C^\infty$  級の  $k$  次微分形式とする． $M$  の局所座標  $(x_1, \dots, x_m)$ ,  $N$  の局所座標  $(y_1, \dots, y_n)$  をとり,  $\alpha$  および  $\varphi$  の局所表示を各々

$$\alpha = \sum_{i_1 < i_2 < \cdots < i_k} \alpha_{i_1, \dots, i_k}(y_1, \dots, y_n) dy_{i_1} \wedge \cdots \wedge dy_{i_k}$$

$$y_j = \varphi_j(x_1, \dots, x_m), \quad 1 \leq j \leq n$$

とする．前問の結果を使って  $\varphi^*\alpha$  の局所表示を与え,  $\alpha$  が  $C^\infty$  級ならば  $\varphi^*\alpha$  も  $C^\infty$  級であることを示せ．

問題 130  $V$  を有限次元実ベクトル空間,  $V^*$  をその双対空間とする． $v \in V$  に対して線形写像  $i(v): \bigwedge^k V^* \rightarrow \bigwedge^{k-1} V^*$  で次の性質を満たすものがただ一つ存在することを示せ． $i(v)$  を内部積という．

- (1)  $\varphi \in V^*$  に対して  $i(v)\varphi = \varphi(v)$ .
- (2)  $\alpha \in \bigwedge^k V^*, \beta \in \bigwedge^l V^*$  に対し  $i(v)(\alpha \wedge \beta) = (i(v)\alpha) \wedge \beta + (-1)^k \alpha \wedge (i(v)\beta)$ .

### 発展問題

問題 131  $V$  を有限次元ベクトル空間とする .  $\wedge^k V$  の元  $x$  が  $v_1, \dots, v_k \in V$  を用いて  $x = v_1 \wedge \dots \wedge v_k$  と書けるとき  $x$  は分解可能であるという .  $x \in \wedge^k V$  が分解可能であることと , 任意の  $\varphi_1, \dots, \varphi_{k-1} \in V^*$  に対して

$$(i(\varphi_1)i(\varphi_2) \cdots i(\varphi_{k-1})x) \wedge x = 0$$

が成り立つことは同値であることを示せ .

問題 132  $S^3 = \{(z, w) \in \mathbb{C}^2 : |z|^2 + |w|^2 = 1\}$  を 3次元球面 ,  $\pi: S^3 \rightarrow \mathbb{C}\mathbb{P}^1 \cong \widehat{\mathbb{C}}$  ,  $\pi(z, w) = [z, w]$  を Hopf 写像とする . (問題 33,56 も参照) .  $i: S^3 \rightarrow \mathbb{C}^2$  を包含写像とし ,  $\mathbb{C}^2$  の座標を  $(x_1 + \sqrt{-1}x_2, x_3 + \sqrt{-1}x_4)$  とおく .

$$i^*(dx_1 \wedge dx_2 + dx_3 \wedge dx_4) = \pi^*\omega$$

を満たす  $S^2$  上の 2次微分形式  $\omega$  が存在することを示せ .